



どーも 市長の堀口です

大筋(骨太)と細部
先月、全国都市問題会議の講演で、東京大学史料編纂所本郷教授は、「日本の歴史は、ヨーロッパやイスラム、中国の歴史に比べて穏やかなものといえる。しかし、黒船来襲のようにそうでない場合もある。現在の黒船は、少子化」という旨のことを言われていました。これは、歴史を見ると、細部とともに大筋を把握し、その中で現在をどう捉えるか、その重要性をいわれていると感じました。団塊の世代がすべて後期高齢者

となる2025年問題、(年限は特定でない東南海地震、)団塊の世代ジュニアの社会保障問題であるといわれる2040年問題など市政運営上考慮すべき将来課題があります。これらの問題の内、25年、40年問題の根底には少子化があります。これらの根本的な対策は国においてされるべきものと考えますが、市としても子育て環境の充実、健康都市(スマートウェルネスシティ)づくりや地震に備え、新庁舎整備などを通じて、現在と将来の問題に取り組んでまいります。

議案等を原案通り可決

市議会第3回定例会

9月3日(月)に開会した平成30年八幡市議会第3回定例会は、市が提出した議案

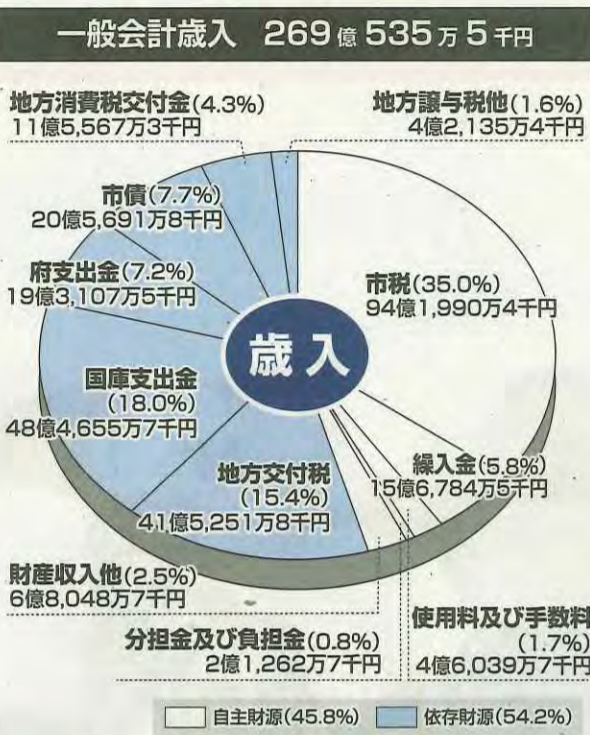
等をすべて可決、承認し、10月16日(火)に閉会しました。一般会計は台風21号等により被害を受けた農業者に対する復旧支援費等2億4,400万円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を247億9,401万円としました。

平成29年度の決算状況をお知らせします

平成29年度一般会計等の決算状況をお知らせします。決算は、市議会第3回定例会開会中に設置された決算特別委員会で審査され、10月16日に認定されました。

一般会計

平成29年度の一般会計決算額は、歳入269億535万5千円、歳出263億4832万3千円



4832万3千円です。歳入歳出の差し引き額は5億5703万2千円で、翌年度に繰越すべき財源1089万円を差し引いた実質収入額は48億22万9千円です。歳入歳出の差し引き額は5億5703万2千円で、翌年度に繰越すべき財源1089万円を差し引いた実質収入額は48億22万9千円です。

決算の概要

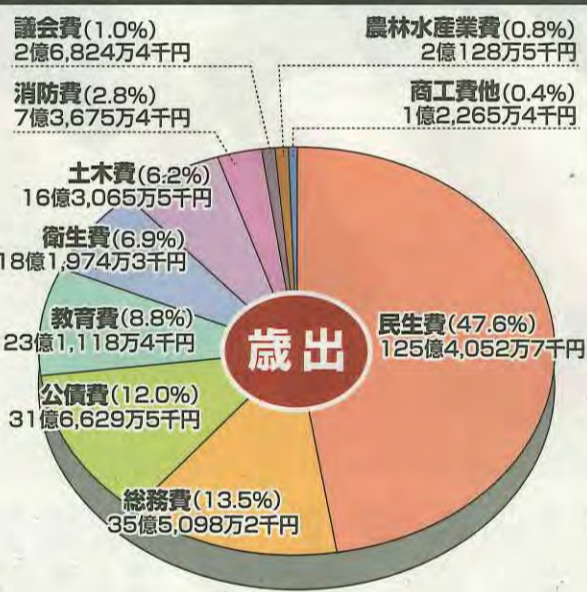
支は、5億4614万2千円となつています。

歳出は、橋本駅周辺拠点整備、中学校給食施設整備、男山中学校整備などの大型事業が平成28年度で一定完了し、前年度に比べ、土木費が6億4906万6千

円、教育費が9億1072万9千円減少するなど、歳出全体で19億5854万7千円(6.9%)減少しました。

歳入においても、大型事業の完了等にもない、前年度と比べて市債が19億9772万2千円減少するなど、歳入全体で20億581

一般会計歳出 263億4832万3千円



特別会計

特別会計の決算状況は、表のとおりです。特別会計の実質収支は、いずれも黒字で決算することができました。

※水道事業会計・下水道事業会計の決算状況の詳細は、上下水道広報紙「やわたの上下水道」(12月発行予定)でお知らせします。

歳出決算額を人口一人当たりでみれば

人口71,611人(平成30年3月31日現在)

1人当たり合計...367,937円

民生費...175,120円 ▶ 高齢者・障がい者・児童の福祉などのために

総務費...49,587円 ▶ 市政運営のために

公債費...44,215円 ▶ 市の借金の返済のために

教育費...32,274円 ▶ 小・中学校の管理運営、生涯学習の充実のために

衛生費...25,412円 ▶ 市民の健康、ごみ処理のために

土木費...22,771円 ▶ 道路や公園の整備、管理などのために

消防費...10,288円 ▶ 救急、防災のために

議会費...3,746円 ▶ 市議会運営のために

農林水産業費...2,811円 ▶ 農林業の振興と育成のために

その他(商工費等)...1,713円

平成29年度会計別決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引
一般会計	269億535万5千円	263億4832万3千円	5億5703万2千円
特別会計			
休日応急診療所	3,741万7千円	3,739万8千円	1万9千円
駐車場	1,343万5千円	1,278万9千円	64万6千円
国民健康保険	93億9,234万8千円	91億9,091万4千円	2億143万4千円
介護保険	52億5,259万1千円	51億2,610万8千円	1億2,648万3千円
後期高齢者医療	16億1,113万9千円	15億8,600万2千円	2,513万7千円
計	163億693万円	159億5,321万1千円	3億5,371万9千円

◆問い合わせ 財政課

財政状況

市の財政状況は、人口減少等により、市税収入をはじめとした一般財源収入が伸び悩む一方、社会保障関連経費の増加など多くの財政需要があります。引き続き、持続可能な財政運営を努めていきます。

平成30年秋季全国火災予防運動

11月9日(金)~15日(木)

空気が乾燥し、火災の起こりやすい季節です。火の取り扱いには、充分気をつけましょう。

3つの習慣

- ▼寝たばこは、絶対やめる。
- ▼ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ▼ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- ▼逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ▼寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- ▼火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ▼お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

お休み前にもう一度、火の元の点検をしましょう

◆問い合わせ 消防本部予防課

台風等により被害にあわれた農業者の皆さんへ
平成30年7月豪雨および台風12号・20号・21号によって、被害を受けた農業施設の復旧に対する支援事業の申請を受け付けています。
事業内容
①農業者等復旧応援事業：ビニール等の小規模修繕に対する支援(補助率：4分の3以内、上限15万円)
②農業者災害復旧支援事業：パイプハウス、茶棚の復旧に対する支援(補助率：4分の3以内)
③野菜生産施設用ビニール購入費助成事業：パイプハウスの修繕におけるビニール購入経費に対する助成(補助率：10分の1以内)
※②・③のみ同一施設で併用可。
◆問い合わせ 農業振興課

消防本部 ☎981-4119		
平成30年1月~9月累計()内9月分	昨年同期累計	
火災出動	7件 (0件)	15件
火災以外の出動	211件 (48件)	156件
救急出動	3022件 (324件)	2804件
搬送人員	2829人 (301人)	2618人

11月9日(金)午前7時
15分から京阪八幡市駅前および京阪橋本駅前、啓発活動を実施します。

住宅防火 いのちを守る7つのポイント

「忘れてない? サイフにスマホに火の確認」

(平成30年度全国統一防火標語)